

令和4年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校 「新編現代文B」 (東京書籍)						
副教材等	新訂国語図説五訂版 (京都書房) 常用漢字ダブルクリア四訂版 (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・3年生では就職試験や入学試験必要となる基礎的な国語力と応用力を身につけましょう。
- ・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」、意思を伝えるための「書く能力」を身につけましょう。
- ・筆者の考えや感じ方を理解し、自分の日常生活に置き換えて考えられるようになりましょう。
- ・本文を読むなどの予習や、授業後には内容の復習をしましょう。
- ・提出物の期限は必ず守り、定期考査は計画を立てて臨みましょう。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・日本語に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、表現の仕方を工夫して話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じて、文章の形態や語句を工夫することで、適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章の内容を的確に読み取ったり、人物、情景、心情などの表現に即して読み味わったり、目的に応じて幅広く読み、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (ノート、ワークシートや、発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート等) 定期考査	記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	言語活動	「近代以降」 (文章を書き、それを元に自己紹介をすることで、話し方、聞き方を学ぶ) 教材 「文学的文章を読んで話し合う」 「原稿用紙400字×2枚」	○	◎	◎		○	a: 誰に向かって、何のために、どのような条件で話すのかを考えている。 b: 誰に向かって、何のために、どのような条件で話すのかを考えている。 c: 誰に向かって、何のために、どのような条件で話すのかを考えている。 e: 書くこと、話すこと、聞くことに必要な文の組み立てについて理解している。	abce 行動の観察と確認、記述の点検
	評論1	「近代以降」 教材 「最初のペンギン」	○			◎	○	a: タイトルに象徴される筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取ろうとしている。 d: タイトルに象徴される筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取り、自分の生き方について理解を深めている。 e: 漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査
	小説1	「近代以降」 教材 「山月記」 「ころ」	○			◎	○	a: 登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考えようとしている。 d: 登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考えている e: 漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。また、独特の文体について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査

	随想1	「近代以降」 教材 「物語の外から」	○		○	◎	○	a：二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えようとしている。 c：二人の語り部に共通する姿から、主人公の心情を理解し、文体や語句などを適切な表現の仕方感想を書いている。 d：二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深めている。 e：漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	ac 行動の観察と記述の点検 cde 記述の確認と定期考査
2学期	言語活動	「近代以降」 教材 「論理的文章を読んで意見を書く」 「原稿用紙400字×1枚」	○	◎			○	a:話す内容について幅広く調べようとしている。 b:話す内容について幅広く資料を集め、紹介する内容を調べている。 e:話すこと聞くことに必要な語句や文体の違いによる特色について理解している。	abe 行動の観察と記述の点検
	評論2	「近代以降」 教材 「言葉は世界を切り分ける」	○			◎	○	a:他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにしようとしている。 d:他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにしている。 e:例えを理解し、特に対比的に使われている語句に注目できている。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査

	小説2	「近代以降」 教材 「ベルエポック」	○			◎	○	<p>a: 二人の交流を描いた小説を、「私」の視点から書かれていることに注意しながら読み、味わおうとしている。</p> <p>d: 二人の交流を描いた小説を、「私」の視点から書かれていることに注意しながら読み、味わっている。また、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考えている。</p> <p>E: 漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。</p>	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査
	詩	「近代以降」 教材 「竹」 「永訣の朝」	○	◎		○	○	<p>a: 独自の比喩的な表現を味わい、また作品のもとなった体験を知り、作者は体験をどのように言語化しているのか考えようとしている。</p> <p>b: 声を出し、想像力を働かせて詩を味わっている。</p> <p>d: 独自の比喩的な表現を味わい、また作品のもとなった体験を知り、作者は体験をどのように言語化しているのか考えている。</p> <p>e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>	ab 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査
3 学期	評論3	近代以降 教材 「ホンモノのおカネの作り方」 「未来のありか」	○			◎	○	<p>a: 小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、文章のテーマについて考えようとしている。</p> <p>D: 小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、文章のテーマについて考えている。</p> <p>e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。</p>	a 行動の観察と記述の点検 d 記述の確認と定期考査 e 小テストと定期考査

小説3	近代以降 教材 「葉桜と魔笛」	○			◎	○	a:物語の展開を把握しつつ、そこに浮かび上がる人間の心の奥深さを味わおうとしている。 d:物語の展開を把握しつつ、そこに浮かび上がる人間の心の奥深さを味わっている。 e:漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。また、文章の形態や特色について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査
随想	近代以降 教材 「カフェの開店準備」	○			◎	○	a:日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめなおそうとしている。 d:日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめなおしている。 e:漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力
c:書く能力 d:読む能力
e:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。